

神経科学に強い脳神経外科専門医育成を目指します

プログラムの概要

- ◆ 全人的医療の理念に基づき、診断、検査、治療を通じて、広範で総合的な脳神経外科の臨床能力を身につけることを目指します。日本脳神経外科学会の専門医資格取得を目指し、次世代の医療をリードする医師を育成します。
- ◆ 今日の医療は、科学的検証に裏打ちされたエビデンスに基づく医療(Evidence-Based Medicine)が求められます。そのためには、科学的な洞察力が不可欠です。臨床研修に加え、神経科学の基礎的および臨床的研究を通じて、科学的思考法を修得することも大切です。当プログラムでは、専門医取得に加え、学位取得を目指すコースも用意しています。
- ◆ 初期臨床研修を終了した医師を対象として2つのプログラムがあります。
 1. 臨床専門プログラム : 専門医資格取得に専念し、臨床研修を深めるプログラムです。
 2. 大学院進学プログラム : 臨床研修に加え、研究活動を行い、専門医資格と学位の両方を取得します。

どちらのコースも、修了後にはサブスペシャリティとしての専門領域を目指すことができます。未来の医療を共に切り拓きましょう。

アピールポイント

- ◆ 後期研修の4年間で脳神経外科専門医を取得できます。
- ◆ 専門医取得後のサブスペシャリティとして、脳卒中学会専門医、脳卒中の外科技術認定医、脳神経血管内治療専門医、神経内視鏡技術認定医、がん治療認定医、脊髄外科学会認定医、頭痛学会専門医、てんかん専門医などを目指せます。
- ◆ 一般的な脳神経外科疾患に加え、特殊な症例や難易度の高い治療法に精通することで、実践的なスキルを磨くことができます。
- ◆ 全身の臓器につながる神経系について学ぶことは、全身管理を習得する上で大きな利点となります。
- ◆ 臨床及び基礎研究を通して、洞察力と科学的思考力が備わり、臨床力にさらに磨きがかかります。

具体的な研修内容

研修風景

マイクロサージェリー実習

脳神経外科手術に、生まれつきの器用さは必ずしも必要ありません。研修医時代から顕微鏡下で微小血管を吻合する技術を習得し、自信を持って手術に臨むためのトレーニングを提供します。日常的に鍛錬することが、手術成功の鍵となります。



ハイブリッド手術室での先端医療

最新の多関節型血管撮影装置が設置され、血管撮影や血管内治療を行いながら、開頭術の同時施行が可能となりました。ハイブリッド手術室の導入により、より安全で効率的な治療が実現し、最良の医療を提供することができます。



高磁場術中MRIを使用した安全・確実な手術

繊細な脳組織を扱う際には、各種の支援システムが重要です。当科では、日本初の可動式高磁場術中MRIを手術室に導入し、高解像度の画像を取得することで、正確に組織構造が把握できます。精度を高め、より安全で高品質な手術を提供することが可能になります。

